

令和7年度 公益社団法人小田原薬剤師会事業計画

自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日

令和7年(2025年)は、昭和22年～24年(1947～49年)生まれのいわゆる団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者になる年としてかねてより注目されてきた。一方で、近年のデジタル化の進展及び技術革新は目覚ましく、AIやメタバース等のデジタルテクノロジーが急速に国民の身近なものになりつつある。スマートフォンの個人保有率は80%に達しており、その普及により国民の日常生活における利便性は飛躍的に向上している。こうした社会状況を背景に、国では医薬分野における様々な制度改正や規制改革の準備が進められており、次の薬機法改正に向けて薬局の機能や医薬品販売方法の見直しなどが検討されている。

小田原薬剤師会としても、国の動向を注視しながら、我々を取り巻く環境の変化に柔軟に対応していく必要がある。薬剤師及び薬局が将来にわたり地域医療の一翼を担い、行政や関係団体等と連携しながら住民の健康増進、福祉、保健衛生の向上に寄与し続けることができるよう事業を進めることが求められている。

本年度の主な公益目的事業としては、引き続き、適切な医療を地域住民が受けられるようにする事業、地域社会の救急医療の体制の確保、薬学の進歩発展、地域住民の健康で安全な生活環境の確保の4項目を重点事業としている。各市町の健康フェスティバル・糖尿病週間行事、おくちの健康フェスティバル、認知症各種イベント、薬物乱用防止啓発事業等の啓発事業は、コロナ禍前と同等かそれ以上の規模で開催できるようになり、本年度も新たな工夫を凝らしながら継続して参加していく。毎回好評を得ている一般公開講座は、小田原薬剤師会が単独で主催する唯一のイベントとして更に発展させていく。

また近年、大規模地震や豪雨、暴風等の自然災害が多発していることを踏まえ、更なる災害対策を推進していく。行政と連携して災害時備蓄医薬品の確保、仮設救護所設置訓練、会員の安否確認等を拡充する。特に実践的に行っている小田原市仮設救護所の設置訓練には多くの薬剤師の参加を促していく。

これらの取り組みの他にも、学術研修会事業、多職種連携推進事業、薬剤師会ホームページ、地域紙への広告掲載等においても継続して実施し、地域住民へ薬事関連、医療に関する啓発や情報提供も行っていく。

更に公益目的事業として薬局及び薬剤師に関する事業にも積極的に取り組んでいく。令和7年1月より小田原市立病院に続き県立足柄上病院との入退院連携を開始したところである。地域医療連携会議も毎月開催されるようになり、本年度は更に地域の病院とも連携していく計画である。会員薬局すべてがかかりつけ業務を行い、薬剤師が今後更なる活躍を望めるよう事業を展開していく。またリスクマネジメント事業や医療保険適正化事業等も継続し、薬局・薬剤師を支援する。

本年度も地域住民への期待に応えられるように、新たな工夫を凝らした事業の展開を図り、医療、介護、福祉の向上に努め、薬剤師の職能をより発揮できるよう会員の協力を得て事業を推進していく。

公益目的事業

1. 適切な医療を地域住民が受けられるようにするための事業

① 学術研修会開催事業

地域住民の健康に貢献する薬剤師となるために必要な知識の取得やスキルアップを目的とした研修会を企画、運営、実施する

② 在宅・居宅療養管理指導推進事業

小田原市との契約に基づき三師会と連携して研修会等を実施して在宅業務の推進を図る

在宅業務を正しく理解し、多職種に対し説明できる能力を身につける

多職種の業務内容を理解し、「連携」から「協働」への能力を身につける

③ 多職種連携推進事業

行政・他職種と連携を図り、地域包括ケアシステムに参画する

行政が行う地域包括ケア会議・在宅医療推進協議会・地域在宅医療等連携推進協議会・高齢者福祉計画策定会議・保健医療福祉推進会議等に参加する

班制度を活用して、地域包括支援センターが行う圏域ケア会議に参加する

自立支援ケア会議、ケアネット OHMY 事例検討会等に参加する

④ 薬剤レビューワークショップ事業

患者特有の情報を収集するためのプロセスを学び、薬剤関連問題の評価を行い、エビデンスのある処方提案ができる薬剤師を育成する

ワークショップのファシリテーターを養成する

⑤ 地域相談窓口事業

医療・介護関係者向けに在宅における服薬支援のための受付窓口を運営し、協力体制の強化を行う

受入れ薬局の受入れ後のフォローのため事例検討を行いフィードバックする

ホームページに検索サイトを設置し多職種の方が必要な情報を検索出来るようにデータベースの管理を行う

行政・他職種の協力を得て、薬局 DOTS を行う

2. 地域社会の救急医療体制の確保に関する事業

(1) 地域社会の救急医療体制の確保に関する事業

① 2市8町救急医療対策

② 小田原市休日夜間急患薬局・足柄上地区休日急患薬局の管理運営

- ・ 小田原市休日夜間急患薬局

休日昼間 76 日開局 夜間 365 日開局

- ・ 足柄上地区休日急患薬局

休日昼間 72 日開局

③ 湯河原町・箱根町・真鶴町休日輪番制参加薬局の管理運営

④ 救急医療体制研修会

薬剤師が円滑に勤務できるよう、急調勤務薬剤師及び休日輪番制度参加薬局勤務薬剤師を対象として、情報伝達、日々の業務に役立つ講演会を行う

⑤ オペレーター研修会

小田原急調、足柄上急調に勤務するオペレーターの質の向上を図る
円滑な業務を行う為にオペレーター間での情報交換を行う

⑥ 救急医療体制整備事業

小田原市休日夜間急患薬局と小田原市休日夜間急患診療所において、医薬品の適正使用や効率のよい在庫管理を目的として、採用薬についての検討を行う

足柄上地区休日急患薬局と足柄上地区急患診療所において、医薬品の適正使用や効率のよい在庫管理を目的として、採用薬についての検討を行う。

⑦ 急診全体会

小田原市より、小田原市休日夜間急患薬局、小田原市休日夜間急患診療所及び小田原市休日急患歯科診療所の事業報告を受ける。また各団体・行政との情報交換を行う

足柄上衛生組合より、足柄上地区休日急患薬局、足柄上地区休日急患診療所の事業報告を受ける。また診療所・行政との情報交換を行う

(2) 公衆衛生向上事業

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の流行、および新たな新興感染症の流行に備え、三師会・行政と定期的な会議を開催し情報共有を図り、感

染拡大防止に協力する

3. 薬学等の進歩発展に関する事業

(1) 薬学の進歩発展に関する事業

① 学術大会発表

地域住民から聴取したアンケートの考察、小田原薬剤師会で行った実績を日薬、県薬等の学術大会で発表する。

② 非薬剤師による準備行為研修会事業

非薬剤師に対して行われる研修会に対し、参加費を補助する。

(2) 薬学生の育成に関する事業

① 認定実務実習指導薬剤師養成事業

実務実習を受け入れるための認定実務実習指導薬剤師を養成し、受け入れ体制を確保する

実務実習指導薬剤師に必要な研修会を実施する

② 実務実習地域連携室事業

各薬局で完結できない実習の調整・実施及び実務実習における問題点の検討
患者指導が出来るようになるための研修会の実施を行う

薬学生の薬局実務実習の受け入れ 令和 7 年度：Ⅰ期 12 名・Ⅱ期 7 名・Ⅲ期
11 名 予定

4. 地域住民の健康で安全な生活環境を確保するための事業

(1) 普及啓発に関する事業

① 一般公開講座開催事業

地域住民を対象とした医療、健康に関する講演会を開催し、薬事関連の啓発を行う

講演会前にお薬・健康相談コーナーを開設する

② 各市町村の健康フェスティバル等参加事業

各市町で行われる保健事業の一環に参加し、お薬・健康相談コーナーの開設、
かかりつけ薬局・お薬手帳の PR、禁煙相談、重篤な副作用のポスター掲示等

を行う 小田原市、南足柄市、湯河原町、真鶴町、箱根町 各 1 回

③ 糖尿病週間行事参加事業

一市三町（小田原市、箱根町、湯河原町、真鶴町）の行う保健事業の一つである糖尿病週間行事に参加協力し、生活習慣病重症化予防に貢献する

④ おくちのけんこうフェスティバル参加事業

小田原市、小田原歯科医師会で開催するおくちのけんこうフェスティバルに参加協力し、地域住民へ口腔環境と薬の関係性を周知する
地域住民へ口腔ケア・嚥下補助の啓発を行う

⑤ 講師派遣事業

行政、医療・介護団体等他団体が行う市民教育等への講師の派遣を行う

⑥ 薬物乱用防止啓発事業

各地区での街頭キャンペーン・健康フェスティバル等での薬物乱用防止啓発活動を行い、薬物についての正しい知識を啓発する
薬物乱用防止の必要性を地域住民に対して啓発する
行政が行う薬物乱用防止推進地域連絡会等に出席する
薬剤師が薬物乱用相談・薬物乱用防止教育ができるように、研修会を実施する

⑦ 広告掲載事業

地域紙やくらしのガイド等へ広告掲載することにより、地域住民へかかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師の啓発を行い医療に対する関心を高める

⑧ 子育て支援事業

小田原市子育て支援フェスティバルに参加協力し、小児及び子育て世帯へ医薬品適正使用に関するアドバイスやお薬・健康相談を行う

⑨ 認知症対応事業

一市三町（小田原市、箱根町、湯河原町、真鶴町）の関係団体で構成する認知症をにんちしよう会へ参加協力し、地域住民の認知症に対する関心を高める
医療連携・医療介護連携について協働し、認知症のみならず地域における多職種連携の拠点とすることに協力する
南足柄市認知症地域支援アクションミーティングへ参加協力し、認知症の方や家族を地域で支える取り組みを行う

第 1 号議案

⑩ ポスター・パンフ作製事業

薬局・医療に関する地域住民への啓発活動の一環として、ポスター、パンフレットを作成し、配布・設置場所の管理をする

⑪ インターネット関連事業

薬剤師会ホームページを管理運営し、住民に地域医療に関する情報提供を行う

(2) 学校環境衛生に関する事業

① 学校環境衛生検査事業

学校保健安全法に基づき、2 市 8 町の学校の環境衛生検査を行い、適切な環境の維持に努める

薬の適正使用に関する啓発授業の実施または助言を行う

学校薬剤師の薬物乱用防止教室等の研修会を開催する

各地区学校保健会事業へ協力する

② 小田原市給食センター等食器具類衛生検査事業

学校給食の給食センター及び共同調理場の食器具類衛生検査を行うことにより、適切な食品衛生管理体制を確立する

③ 関東甲信越静学校保健大会・全国学校保健研究大会への参加

関東甲信越静学校保健大会、全国学校保健研究大会に参加し、児童・生徒・教職員等に対し学校保健について指導・助言を行う

(3) 災害時等の医薬品の確保・供給に関する事業

① 地域防災関連事業

地域防災計画策定へ参画する

神奈川県、小田原市等各自治体主催の防災訓練に参加協力する

災害時のお薬手帳の啓発を行う

災害時の医療班の設営及び衛生環境の整備について検討する

災害時安否確認システムを運用する

行政・医師会・歯科医師会と協力し防災マニュアルを作成する

② 災害時備蓄医薬品の管理に関する事業

災害時備蓄医薬品の管理運営を行う

災害時備蓄医薬品について、各行政、医師会と協議する

(5) 献血推進事業

① 献血推進事業

地域住民への献血推進啓発活動及び献血への積極的な参加協力の呼びかけを行う

共益目的事業

1. 会員薬局及び薬剤師に関する事業（医薬分業に関する事業）

(1) 面分業推進及び処方箋応需体制の整備事業

会員保険薬局の処方箋応需体制を整備する

院外処方箋疑義照会・問い合わせ内容の検討、調剤過誤対策を行う

・小田原市立病院：分業推進協議会、薬剤科との検討会

・足柄上病院：地域連携室検討会、合同勉強会

・基幹病院連絡会等の開催

・地域の基幹病院との薬薬連携を図る研修会の開催

会員からの要望の伝達・それらの検討を行う

(2) 医療保険の適正化を目的とする事業

保険調剤における医療保険適正化を図り、過算定・誤算定・算定要件に関する研修会を開催する

診療報酬改定の内容周知を行い、加算算定の条件等を会員と共有する

保険薬局からの医療保険に係る相談に応需する

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律改定の周知を行う

(3) リスクマネジメント事業

リスクマネジメント研修会を開催する

インシデント事例の収集・分析・検討を行う

調剤事故発生時及びその他のリスク発生時における対応を行う

偽造処方箋・多重受診発生時における対応を行う

医薬品副作用救済制度の周知を行う

(4) 未来薬局プロジェクト

薬局が積極的に患者の健康をサポートしていく姿勢を示し、地域一丸となった薬

剤師の活躍を目指す

無菌調剤室共同利用に関する研修会、薬剤師が今後更なる活躍を目指せる研修会を開催する

2 その他の共益事業

(1) 機関誌等の刊行に関する事業

① 会報発行事業

会報「薬匙」を通じ、会の活動内容を報告し情報を共有する
記事を掲載することにより会員の知識向上を図る

(2) 他の団体諸団体との連携、協力に関する事業

① 足柄上三師会活動

足柄上三師会の事業に参加協力し、連携する
総会・役員会・幹事会・学術研修会・研修講演会・地域医療委員会・防災訓練
(安否確認システムの利用)等

② 保健福祉事務所連絡協議会の開催

保健福祉事務所と情報交換を行い、協力体制を確立する

③ 市町の国民健康保険運営協議会への出席

④ 日本薬剤師会・神奈川県薬剤師会・周辺地域薬剤師会等との連携・協力

⑤ 姉妹薬剤師会である上田薬剤師会との連携・交流

⑥ 小田原医師会・小田原歯科医師会との連携・協力

三師会役員連絡協議会

三師会連携事業

⑦ 小田原市休日夜間急患薬局・足柄上地区休日急患薬局の管理運営

急患診療所全体会

急調・急診連絡会

(3) 会員を対象とした共益に関する事業

① 会員全体会

全会員で意見交換、情報交換を行い、相互の親睦を深める

新入会員が会の活動内容(運営方針、委員会活動等)を理解して、活動に積極的に参加できるようにする

第 1 号議案

② 班制事業

会員を中心とした班制度を運営し、連絡体系の充実と情報交換を図る
班長会議を開催し、委員会からの情報伝達を行い、班会議で出された意見・問題点等を集約、検討する

③ 学術大会参加補助事業

日薬・県薬の学術大会に参加し、薬剤師としての研修を積み重ねる

④ インターネット関連事業

ホームページおよびメーリングリストを通じ会員へ情報伝達する
研修会及び会の事業を住民に告知する

⑤ 会員研修親睦旅行の実施

会員相互の研修と親睦を深める旅行を企画、実施する

⑥ 賀詞交歓会の開催

会員相互の親睦と、来賓、業界団体との情報交換、協力体制を深める

⑦ 同好会

ゴルフ同好会

釣り同好会

RUN&WALK 同好会